

5周年祝賀行事に、総合司会者としてご協力いただいた学習者の皆さんにインタビューしました。感想文としてお寄せいただいたのもあわせてご紹介します。読者から彼らへ返球をおねがいします。(広報係)

蘇 濱

從很久以前開始 不太敢在他人面前說話。特別是在德
國人面前而且還是用日語。總是令人緊張。擔任司會對我
而言還是第一次。當被詢問擔任司會時。因為實在沒有自
信。所以相當緊張。但是。一想到這也算是學習日語的機會
。便承諾就任司會的工作。

事前和其他司會們練習了很多次。但愈接近正式開始的
時候就愈緊張了起來。但是。和大家一起唱歌。玩遊戲。
緊張感就消失不見了。

藉著參加這次活動的機會。認識了很多國家的人。更和
他們成為朋友。在國語歌曲和舞蹈表演的體驗中。成爲很好
的學習經驗。很高興能夠擔任這次活動的司會。

蘇 濱

す。以前から、おほ人の前で話すのは苦手なもので、
大勢の人の前でしかも日本語で話すのはさらに緊張しま
した。司会をするのも初めてです。司会をしてと言われて
た時、自信がなかったもので、ほんとうに悩んでおりました。
でも、これは日本語の勉強だと思って司会をすることに
しました。

おほ人の司会者たちと一緒に何度も練習しておいたが
本番の色が、緊張感ばかりに強ま、てきました。み
んなと一緒に歌、をり、ゲームを遊んでおりました。緊張感
は、おりました。

イベントを準備するさ、りけにいろいろお国の人と出合っ
て友達におりました。お、いろいろお国の歌や踊りを
体験していろいろ勉強におりました。イベントで司会をして
ていも楽し、たです。

이제오가 5주년 기념행사에 참가하며

한국 서울 윤성범

갑자기 부탁받은 이제오가 5주년 기념행사의 사회자.
우선 나는 '내 일부어 실력으로 가능한 건가?' 라는 생각부터 하였다.

Yes. 라는 대답을 했기에 기왕 하는거 같애보지만 생각은 없고
항의로는 망한구석에서는 흔해 하소 안 잊었다.

대우이 다음 한국 친구와 아리랑나 일본 민가 극도 부너야 했기
때문에 중압감조차 느끼기 시작했다.

부족한 준비에도 불구하고 기념행사는 시작되었고
다케히도 사회는 일방언(單言) 타이밍인, 나 이렇게 나영이서
진행은 하였다.

사회는 진행하면서 그중 승부하던 이제오가 인식이 바뀌어
꽤 의미 있는 불쌍리아 라는 걸 깨닫게 되었고 이런자리의 사회를
본다는것이 뿌듯하게 생각하게 되었다.

다른 외국 친구들의 준비한 것들은 보여 강요하기도 하고
재미있기도 하고 참가하길 잘했구나 라는 생각이 들었다.

이제오는 준비한 모든 상제가봉드라 세상껏 준비해는 다인 친구들
도 재미있게 반응 모든 상을 같이 사회를 진행했던 것들.

모두 감사하며, 그날의 기억은 일본에서의 추억중에 가장
즐거웠고 부듯한 장면은 기억될 것이다.

市岡5周年の記念行事に参加して

韓国 1/11 文成範

市岡5周年の記念行事の司会者。
最初は 'これ、俺に出来るんだ? 33歳?' という心配の気持ちで
始まりました。

でも 'Yes. it' と言った以上、おほくやること、力の限りがんばらうと
考え直しました。

半分心配のままだとたんだけおほ。更に、他の韓国の友達とアリアと
日本の演歌曲も乗る事になり、重圧感を感じ始めました。

準備も足りず、記念行事は始まりました。幸い司会者が日本人と
台湾人、韓国人の4人だったので、少しは緊張を緩和された事もありました。

司会者の役割を果たせるから、その前から勉強していた市岡日本語教室
というボランティア活動の意義にも改めて気付く、

今回、司会者になってよかったなって思いました。
おほがしゃべりに慣れました。

他の外国の友達の前で歌を歌うなどを見て感動したり、楽しんでました。

この行事のため色々準備した関係者の方々と外国の友達、
また楽しんでくれた観客の皆さん、おほと司会者の3人、
皆に感謝してます。おほの思い出は日本での記憶の中の
一番おほくしてやがたいおほ。一カットとして
一生忘れられないと思っております。



5周年記念行事で司会をつとめる玉城さん(写真右2人目)
蘇さん(中央)、文さん(左側)